

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位	6 単位
対象コース	カレッジコース (メディカルカレッジクラス)	対象クラス	3 年	5 組	
使用教科書	看護医療学校受験数学Ⅰ・A(東京アカデミー編)				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>数学Ⅰ：数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を 図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学A：場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟</p> <p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>(1) 数と式…式の計算・実数・1次不等式・集合と命題について学びます。 (2) 2次関数…2次関数とグラフ・2次関数の値の変化・2次方程式と2次不等式について学びます。 (3) 図形と計量…三角比・三角形への応用について学びます。 (4) データの分析…データの整理・代表値・散らばり・分散と標準偏差・相関について学びます。 (5) 集合と論理…集合の要素の個数・命題と証明について学びます。 (6) 場合の数と確率…場合の数・確率について学びます。 (7) 図形の性質…三角形や円の性質について学びます。 (8) 整数の性質…約数と倍数・ユークリッドの互除法・整数の性質の活用について学びます。</p> <p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 授業においては例題等の説明をしますので、よく聞いて理解し、Challengeの問題を自分で解き、できるかどうかを確認して下さい。疑問点があればその日のうちに解決することが大切です。</p> <p>(2) 家庭 学習においては出された課題を確実に解決し、分からなかった部分は授業での解答を手がかりに積極的に質問し、解決できるようにして下さい。宿題がない日はテキストなどでこれまで学習したところを勉強しましょう。十分な演習量を確保し、数多く問題に触れるよう心掛けて勉強して下さい。また、学校での授業を充実させるために予習もしましょう。</p>

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

<p>評価方法：何を使って評価するのか</p> <p>(1) 定期考査…年4回、定期考査を実施します。授業での学習内容、テキストから出題します。 (2) 小テスト…必要に応じて単元確認テストを行います。 (3) 学期中の課題…授業理解の確認のために添削プリントを課します。提出、解決状況は平常点に加えていきます。また必要に応じてノートの点検を行います。 (4) 評点は、4回の考査を60点、平常点を40点として計算します。</p> <p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>
--

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度 各分野において、考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしているかを見ます。授業態度や課題の提出状況、ノート等で評価します。</p> <p>(2) 思考・判断 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けているかを見ます。定期考査や提出物の内容等で評価します。</p> <p>(3) 技能・表現 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているかを見ます。定期考査や小テスト等で評価します。</p>

(4) 知識・理解

基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けているかを見ます。定期考査や小テスト等で評価します。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	数学 I 第 1 章 数と式	① 整式とその計算	●	●	●	●	○
			② 因数分解	●	●	●	●	○
			③ 実数と平方根	●	●	●	●	○
			④ 式の値	●	●	●	●	○
			⑤ 1次方程式と1次不等式	●	●	●	●	○
			⑥ 絶対値を含む方程式・不等式	●	●	●	●	○
	5	第 2 章 2次関数	⑦ 集合	●	●	●	●	○
			⑧ 命題の真偽、必要・十分条件	●	●	●	●	○
			⑨ 逆・裏・対偶と証明	●	●	●	●	○
			① 2次関数とグラフ	●	●	●	●	○
			② 2次関数の最大・最小	●	●	●	●	○
			③ 2次関数の決定	●	●	●	●	○
6	第 3 章 図形と計量	④ 2次方程式	●	●	●	●	○	
		⑤ 2次関数と2次方程式	●	●	●	●	○	
		⑥ 2次関数と2次不等式	●	●	●	●	○	
		⑦ いろいろな最大・最小問題	●	●	●	●	○	
		⑧ 2次方程式の解の配置	●	●	●	●	○	
		⑨ 絶対値記号を含む関数	●	●	●	●	○	
2	7	第 4 章 データの分析	① 三角比の値	●	●	●	●	○
			② 三角比の相互関係	●	●	●	●	○
			③ 正弦定理と余弦定理	●	●	●	●	○
			④ 三角形の面積	●	●	●	●	○
			⑤ 空間図形への応用	●	●	●	●	○
			① データの分布と代表値	●	●	●	●	○
9	10	数学A 第 1 章 場合の数と確率	② データの散らばりと箱ひげ図	●	●	●	●	○
			③ 分散と標準偏差	●	●	●	●	○
			④ データの相関	●	●	●	●	○
			① 集合の要素の個数	●	●	●	●	○
			② 和の法則と積の法則	●	●	●	●	○
			③ 順列	●	●	●	●	○
11	12	第 2 章 図形の性質	④ 組合せ	●	●	●	●	○
			⑤ 確率とその基本法則	●	●	●	●	○
			⑥ 独立試行と確率	●	●	●	●	○
			⑦ 条件付き確率	●	●	●	●	○
			① 三角形の辺と角	●	●	●	●	○
			② 三角形の重心・内心・外心	●	●	●	●	○
12	第 3 章 整数の性質	③ 円の性質	●	●	●	●	○	
		① 約数と倍数	●	●	●	●	○	
		② 最大公約数・最小公倍数	●	●	●	●	○	
		③ 整数の割り算と商・余り	●	●	●	●	○	
		④ ユークリッドの互除法と不定方程式	●	●	●	●	○	
		⑤ 整数の性質の活用	●	●	●	●	○	



【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

